

照明技術賞

- 最優秀照明賞** C・M部門 PANASONIC アルカリ乾電池
「電撃ストリートバスケ篇」（ハット） 担当 大沼田文弘
- 優秀照明賞** 劇映画部門 RAMPO（黛監督版）（松竹映画） 担当 中岡 源権
- 優秀照明賞** TVドラマ部門 私は貝になりたい（東京放送） 担当 米山 晃
助手 堀口敦生 石川博章
- 優秀照明賞** 産業・教育・記録映画部門 十三代今右衛門「薄墨の美」（桜映画社）
担当 水村 富雄
- 奨励賞** 劇映画部門 ラストソング（東宝・フジテレビ） 担当 大澤 暉男
助手 川越和見 伊藤 保 佐藤 武 泉谷しげる
川辺隆之 鹿毛 剛 渡辺雄二 三上鴻平
- 奨励賞** 劇映画部門 居酒屋ゆうれい（サントリー、テレビ朝日、東北新社、キティフィルム） 担当 上田なりゆき
助手 安藤和也 雨平 巧
- 特別賞** TVドラマ部門 大江戸風雲伝（日本放送協会） 担当 大西 純夫
助手 木村中哉 岡 康明
- 特別賞** TVドラマ部門 乱歩妖しき女たち（東京放送） 担当 笠原 義博
- 特別賞** C・M部門 資生堂「光のメーク」（葵プロモーション） 担当 金 英鎮
- 特別賞** C・M部門 TOTO システムキッチン「フラミンゴ篇」（ライトパブリシティ）
担当 兼康武和
- 第18回協会賞** 協会の発展に尽くされた功績に対し 故 龍 敬一郎
- 第18回協会賞** 永年(40年)勤続 岡田菊雄 小林紀佳 長谷 博 野口素胖 木村誠作
- 第4回伊藤幸夫賞** 該当者 な し

優秀照明賞 劇映画部門 RAMPO（黛監督版）

優秀照明賞 テレビドラマ部門 私は貝になりたい



中岡源権

昭和3年7月28日生

昭和20年1月大映画京都撮影所入所。昭和46年10月映像京都入社。主な作品：お富さん、残菊物語、朱雀門、地獄花、月姫系図、日蓮と蒙古大襲来、弁天小僧、女と海賊、ジャン有馬の襲撃、薄桜記、大江山酒天

童子、切られ与三郎、新源氏物語、座頭市と用心棒。その他照明をした本篇数は約130本になります。

選定理由：江戸川乱歩の世界をソフトなトーンと豊かな色調で描き格調ある画調造りは素晴らしく作品の完成度を高めたこと大と認め、ここに優秀照明賞を贈ります。



米山 晃

昭和16年2月4日生

山形大学工学部卒。昭和38年4月東京放送入社、平成4年4月テレビ朝日へ移籍。

主な作品：TV小説、ザ・ベストテン、月曜ドラマスペシャル、東芝日曜劇場、説得、私は貝になりたい、

芸術家の食事、その他多数。

選定理由：「私は貝になりたい」の照明は、黒を基調とし、戦争時代の重圧感をよく表し、その映像は格調高く作品の完成度を一段と高めている。ここにその功績を認め、平成6年度テレビドラマ部門優秀照明賞を贈ります。

十三代今右衛門「薄墨の美」



水村富雄

昭和11年00月00日生

東京都出身。昭和34年、日経映画社（現日経映像）に入社、照明の仕事に従事、昭和41年退社、現在に至る。主な作品：書を捨てよ町に出よう、津軽じょんがら節、画家加山又造の世界、人間国宝、髹漆増村益城、

狂言師三宅藤九郎、藤本能道色絵磁器、森口華弘のわざ、歌舞伎の立廻り、女方、舞うごとく期がごとく奥三河の花巻、他企業PR多数。

選定理由：「十三代今右衛門」の照明技法は、陶芸家十三代今右衛門とその作品に対する演出意図を的確にとらえ、白から黒へのハーフトーンをよく活かし、素材である陶器に対する照明の難しさをよく克服し、その質感とともに、今右衛門の世界と人柄を明りて充分に表現することにより、作品を昇華させた成果が高く評価されました。

最優秀照明賞 CM部門

PANASONIC アルカリ乾電池「電撃ストリートバスケ」



大沼田文弘

昭和31年3月11日生

長野県塩尻市出身。主な作品：アルカリ乾電池電撃ストリートバスケ、まいどカード登場篇、三菱エアコン霧ヶ峰、パノラマイ、パナソニックブレンビー58、蘇る映像、聖子ヌーディッシュ宣言篇。

選定理由：人物の激しい動きの中で天窓等数多くの光源を効果的に生かした照明設計に統一性があり、商品の特性を見事に表現した作品で光の快感さえ覚えさせるもので最優秀照明技術賞に満場一致で推されたものです。

特別賞 テレビドラマ部門 大江戸風雲伝



大西純夫

昭和27年2月18日生

昭和45年NHK放送技術局制作技術センター（照明）入局、照明担当で現在に至る。主な作品：銀河テレビ小説「続たけし君ハーイ」、大河ドラマ「太平記」などドラマ番組を中心に担当。

選定理由：「大江戸風雲伝」の照明は基調色調共に確りしている。その画像はライトを意識させることなく、終始映像美を感じさせ、作品の格調を高めその功績を高く評価される。ここに平成6年度テレビドラマ部門特別賞を贈ります。

特別賞 テレビドラマ部門 乱歩妖しき女たち



笠原義博

昭和32年11月14日生

昭和56年4月NHK東京放送入社、6月制作技術部照明配属。以後照明を担当し、主に音楽番組のLDとして番組制作に携わる。主な番組：ザ・ベストテン、ナイトスクエア、沢田研二ショウ、東京音楽祭などの音楽

番組。ドラマではテレビ小説や帯ドラ。ハイビジョン番組として各種音楽番組やアインシュタインは黄昏のむこうからやってくる、などをLDとして制作。

選定理由：「乱歩妖しき女たち」照明は江戸川乱歩作の内容をよく把握し、照明設計および表現力は秀逸であり、作品の格調を高めている。その功績は大きく、ここにテレビドラマ部門特別賞を贈ります。

特別賞 CM部門 資生堂「光のメーク」



金 英鎮

昭和30年10月18日生

名古屋市出身。昭和51年東京写真専門学校卒業、写真家を目指して活動のかたわら照明のアシスタントを始める。高宮丈夫氏、石井大和氏に師事。57年独立、平成2年樹金英鎮事務所を設立、現在に至る。主な作

品：サントリーQ、サントリー角、ソニーハンディーカム、サントリーリザーブ、フジカラースーパーHG、セイコーアルパ、ビクタービデオHQ、ホンダビート、資生堂レシエンテ、エリクシル、UVホワイト、アサヒJO、第一生命キーパープラン、日清どん兵衛、日清王

選定理由：スタジオの特性を把握して天窓光を生かしローキー・ハイキーの対比も優れているもので照明効果の発想はとくに高い技術力を認められたものです。

特別賞 CM部門

TOTO システムキッチン フラミンゴ篇



兼康武和

昭和24年4月15日生

兵庫県姫路市出身。昭和47年照明助手となり高宮丈夫、多田良雄両氏に師事、53年照明技師として独立、樹金英鎮事務所を設立。その間に数回の個展、絵画、イラストレーション、写真の仕事も同時進行、日本水彩連

盟展・水彩連盟賞受賞ほか毎年受賞。主な作品：NTT企業CF、富士ゼロックス、進研ゼミ大学進学講座、麒麟ラガー、日産ルキノ、NTT DoCoMo、日本生命、NTTグループ、味の素。

選定理由：商品のキッチンと水まわりという関係を水面の映りを基調とし、清潔感の強調された作品であり、とくに波紋のライティングの効果は高い評価が与えられたものです。